

【戦跡めぐりバスツアー】

7月21日（月）、地歴公民ゼミの3年生2名が、釜石市教育委員会事務局文化財課の協力のもと、釜石の戦跡をめぐりバスツアーを実施しました。県内外から約20名が参加して、高校生がガイド役となり、市内にある太平洋戦争に関連する戦跡を説明しました。

当初は「釜石の人口減少を食い止めるためにはどうしたらよいか」というテーマで探究を進めていきました。しかし、釜石の戦跡が、多くの人々に知られていないことに気づき、これらの戦跡を「平和学習」における新たな観光資源できないかと考え、艦砲射撃や捕虜収容所の歴史を学び始めました。郷土資料館や地元ガイドの会から歴史を学び、市役所の文化財課と調整するなど、様々な人たちと協力して準備したことで、今回ツアーを成功させることができました。

今年は戦後80年という節目の年であり、多くのメディアから取材を受けましたが、彼らとしては、この企画を一回で終わらせるのではなく、未来に歴史をつないでいくために、継続して実施される恒例の企画にしたいと考えているようでした。



【戦後80年】高校生が語り継ぐ戦争と平和の尊さ
(2025年7月23日掲載) | TVI NEWS NNN